

# Aichi あいちの学童保育

県連協ニュースNo. 6

2022年4月3日発行

愛知学童保育連絡協議会

TEL: 052-872-1972

FAX: 052-308-3324

Email: aichigakudou@gakudou.biz



県連協HP

## 第38回あいち学童保育研究集会

～子どもの笑顔が見たいから

今こそつながろう！学童保育～

3月6日に、第38回あいち学童保育研究集会をオンラインで開催しました。県内外から588名の申し込みがあり、YouTubeでの全体会の視聴回数は1,000回を超えました。全体会では基調報告、福島、いわき、気仙からの特別報告、パラアスリートで指導員をされている大島健吾さんによる記念講演を行いました。午後は15の分科会を行い、指導員のみならず保護者も含めた、学習や交流の場となりました。

各地域の実行委員さんを中心にたくさんの方のご協力のもと、無事に終わることができました。オンラインも2年目ということで、運営側も参加者も、大きなトラブルもなく進めることができましたが、交流に重きを置きたいいくつかの分科会では時間不足という声もありましたので、より柔軟な運営ができるように工夫していきたいと思います。

年に1度の保護者と指導員の双方が共に学べる機会であり、指導員さん自身にとっても、運営側や預ける側である保護者にとっても、指導員の資質向上について共通の土台を造るために、必要不可欠なイベントであると改めて感じました。次年度も盛況になることを期待しています。

(研究集会事務局長 藤田)



現地の様子：竹内実行委員長（写真中央）

## 第53回愛知学童保育連絡協議会 定期総会について

今年度もオンラインにて総括案や決算案、会計監査報告、方針案、予算案、新役員を提案・議論していきます。詳しくは後日、発信する案内をご一読いただきますようお願いいたします。



●日時：5月22日（日）13:30～16:00

1地域2名までのご参加をお願いします。

●参加申込フォームはこちら

<https://forms.gle/abEgE8jvzYjm6HJN9>



53回定期総会

上記のURLもしくは、左のQRコードをクリックいただくか、紙面の方はQRコードをスマートフォンなどで読み取りお申込みください。

## あいちの学童保育情報ハンドブック を発行しました



毎年発行しております「あいちの学童保育ハンドブック」の2021年度版を発行しました。例年の調査結果の分析に加え、「今、学童保育の生活を考える」と題した特集も企画しました。コロナ禍の生活において、日々の生活の実践での参考になると思います。その他、例年通り、

開所時間や利用料、各種補助金の執行状況、指導員の処遇など、県連協未加盟市町村を含めた県内全域の情報が集約されており、前年度からの変化や直近5年間の推移等もわかるように編集されています。加盟学童保育所に一冊ずつ送付しておりますので、行政との懇談の際などにご活用ください。また、数に限りはありますが、有償で頒布もしておりますので、必要な方は県連協事務局までお問い合わせください。

(ハンドブック部会 藤田)

## 大和学童保育所ももたろうクラブ 創立40周年祝賀会に参加して



名古屋市千種区にある、大和学童保育所ももたろうクラブは昨年度、創立40周年を迎え、新型コロナウイルスの影響により祝賀会を延期しておりましたが、2021年12月12日に祝賀会が開催され、県連協会長の江坂と共に参加させていただきました。

ももたろうクラブに関わりの深い、学童保育カンファレンスルームを主催している森崎照子さんは、ももたろうクラブの保育の特徴は「子どもの文化的・芸術的な生活への参加」と話されていました。御神楽では、子どもたちの力強い太鼓が、心の奥まで響き渡り鳥肌がたちました。また、卒所したOG・OBの披露もあり、力強い太鼓の響きや華麗な舞に、文化がしっかりと受け継がれていることを感じました。また、朗読劇-ながさき-では、子どもたちの迫真の演技に、当時の情景が目の前に広がるような気持ちになり、涙があふれました。

日本の学童ほいく2021年11月号～2022年2月号実践ノートには、ももたろうクラブの杉谷指導員(Jumbow<sup>※</sup>)のコロナ禍の学童保育が掲載されています。祝賀会の中でも子どもたちが、新型コロナと向き合っていく手作りの紙芝居が流れました。子どもたち一人ひとりが、自分の意見をしっかりと持ち、明日に向かう姿や指導員が子どもたちの主体性を大切にしながら寄り添っている様子を感じることができました。子どもたちの作りあげたこの紙芝居は、全国の学童保育の子どもたちにも是非知ってもらいたいです。

これからも、ももたろうクラブが50年・60年と文化と芸術を継承しつつ、発展されるといいなと願っています。

※Jumbowは長年、親しみ呼ばれている杉谷指導員の愛称です。

(県連協役員 廣川)

## 学童保育指導員協会 2022年度 学童保育指導員研修のご案内

2022年度の学童保育指導員研修が Zoom 併用で、4月24日(日)の基礎研修から始まります。県連協加入学童保育所は学童保育所単位で、**年会費3万円で研修会員としてお申込みすることにより**、学童保育所の指導員や保護者も、どの科目でも何回でも受講できるというものです。2月まで年間を通して行われる指導員研修を受講できます。研修会員は**先着50学童保育所**となっておりますので、お早めにお申込みください。

通常の講座ごとのお申込みも可能です。新任研修・基礎研修・専門研修と経験やスキルに応じた受講ができます。(保育の振り返りや確かめにご活用ください。)

※新任研修及び専門研修は1回のみ受講でも同額です。



指導員研修のお申し込みはこちらから。  
QRコードをクリックしていただくか、スマートフォンなどで読み取り、特定非営利活動法人学童保育指導員協会HPにアクセスできます。

## ほいく誌コラム

ほいく誌 2022年3月号、P.15～19

経験を積み重ね、自ら判断できる力を育む

『3.11』が近づくと、メディアが当時の事を取り上げ、それをキッカケに、わが子と防災について毎年話します。

先日も大きな揺れがまた東北を襲いましたが、2011年の東日本大震災では14時46分に発生し、学年によっては下校時と重なりました。その事もあり、特に登下校時に地震が起きたら何処に避難するか(通学路の〇〇の手前なら家に帰る、向こうなら学校に、など)とわが子に繰り返し話していました。

今回選んだ記事には、名古屋市の学童保育での月1回の防災訓練の子どもの様子や、支援員の方々の子どもの安全を守るための意識や行動が詳しく書かれています。愛知県もいつ何時、大きな地震が来ないとも限りません。ぜひこちらの記事を読んで、家族や学童保育所などで、防災について話し合う時間を作ってみてください。

(名古屋市 保護者 OB)



ほいく誌広報キャラクターがくくん・いちゃんのイラストを、地域でも是非使用してください。レジュメやニュースなどに♪詳しくはHPへ